



★★ 68名の新たな仲間を迎えて、平成30年度がスタートしました！ ★★

4月は、桜の季節であるとともに、本校の校歌にも歌われております「豊かに広がる果樹の園」にも、色とりどりの花が咲き競う、季節となりました。保護者の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げますとともに、本年度も本校の教育活動へのご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。



返事・起立した姿と
引き締まった表情の68名

4月5日に第29回入学式が行われ、新2年生・3年生(義務教育8年生・9年生)の生徒、保護者の皆さん、来賓の皆さん、教職員一同で、新1年生(義務教育7年生)68名の中学校生活のスタートを御祝いしました。

改めて、新1年生(義務教育7年生)の保護者の皆様方に、心より御祝い申し上げます。

翌日の6日には、平成30年度の第1学期始業式をしました。全校生徒(222名)一人ひとりの表情から、新たな気持ちに満ちあふれ、学校生活での様々なことに頑張ろうという雰囲気を感じました。

さて、生徒達にとって、学校は学力(学習によって得られた能力)の積み上げを行い成長できる場所であるとともに、学年・学級活動、委員会活動や部活動などの集団生活(自治活動)をとおして、他者とのつながりや自分の役割が自覚できる場所であると思います。

そこで、本校では、日々の教育活動をとおして、学力(知の力)や社会性・人間関係(徳の力)づくりと体力(体の力)の向上など多くのことを学ばせ、生徒達一人ひとりが自らの行動で自分自身を鍛え、社会に貢献できる人になる準備をさせたいという考えから、本校の教育目標は「心豊かで かしこく 心身ともに健やかな生徒の育成」です。

そして、めざす生徒像は、「励んで学び、確かな知識を持つ生徒」、「助け合い、いたわり合う心を持つ生徒」、「強い精神と身体を持つ生徒」です。

皆さんには、この3つのめざす生徒像を大切にしてほしいと希望します。そして、「社会に貢献する誇り高い八田中生」となってほしいと願っています。

私達教職員も一丸となり、生徒の夢や希望の実現に向けて、日々の教育活動を推進し、本校の教育の充実・発展のため全力を尽くす所存であります。

＝始業式での学校長より話した内容の抜粋＝

68名の1年生を迎え、平成30年度の八田中学校の活動がスタートしました。そこで、今年度も『当たり前前を、当たり前前にする。』という、どんな些細なことであっても、その当たり前前を当たり前前に行うことで、自分自身をよりよく成長させるのです。

まずは、「授業を大切にする。」、「友達を大切にする。」、「規則正しい生活を大切にする。」ということです。そして、日々の生活の中で、自分なりに「自問自答」してほしいと思います。

＝スティーヴン・ホーキング博士の言葉より＝

<2018年3月14日に76歳で永眠されました。>

人類史には、天才と呼ばれる偉人たちが沢山いますが、現代に生きる天才と言え、物理学者のホーキング博士ではないでしょうか。そのホーキング博士の言葉の一つに、「一日一日を大切に生きること。 やりたいことがあるなら、すぐにやること。」と書いていました。このことは、『鉄は熱いうちに打て』ということわざにもあたいます。

＝アルベルト・アインシュタインの言葉より＝

<20世紀最高の物理学者等と評されました。>

アインシュタインと言え、**「相対性理論」**ですね。1905年から作り上げた物理の理論です。その理論物理学者が、言葉の一つに「大切なのは、自問自答し続けること。」と書いています。このことは、自身の言動を振り返り、反省するときの様子を言っていることにもなると思います。また、自ら考えることで自ら答えを出しなさいとも言っているのだと思います。

＝ 八田中学校の校訓 ＝

校訓とは、その学校の「基本とする目標」を言葉で示したものです。

校訓 『日日新』(ひびあらた)

『日日新』とは、「何事も毎日毎日繰り返す、新たな気持ちや考えを持ち続け、たゆまず努力する」という意味です。